

1 主題名 集団の一員として 内容項目 4 - (4)

2 主題設定の理由

(1) ねらいとする価値について

集団として成長していくためには、目標に向かって最善の努力をすることが有効だと考える。しかし、その構成員は多種多様・十人十色で、それぞれがさまざまな個性や考え方、価値観を持っている。そして、それぞれが互いの違いを知ることにとどまり、その違いに振り回されて集団としての目標を見失うことがよくある。

そこで、集団の中でそれぞれが個を生かし、集団の一員として何をすべきかを考えて実践し、目標に向かう態度を育てる機会としたい。特に、体育祭や合唱祭・文化祭という3年生中心の大きな行事が終わり、他の人を引き立てるような役割や自分ではやりたくないような仕事をしなければならなかった経験をしている生徒も多い。自分が所属する集団が向上していくためには、自分の役割を責任をもって果たすことが大切であることは分かっているが、いざ自分のこととなると実践できない生徒が数多くいる今後の進学や将来に向けて集団の一員としての態度の大切さに気付かせたい。

(2) 生徒の実態について (男子 22 名、女子 13 名 計 35 名 調査日 9 月 11 日 調査人数 31 名)

アンケート結果	はい	いいえ	合計
1. 行事や学級活動に真剣に取り組むことができたと思う。	27 人	4 人	31 人
2. 行事や学級活動で仲間と協力することができたと思う。	25 人	6 人	31 人
3. 行事や学級活動で問題を協力して解決できたと思う。	20 人	11 人	31 人
4. 行事や学級活動で自分は必要とされていると思う。	17 人	14 人	31 人

全体的には、正しいことを正しいと考えられる生徒が増えているものの、その考えや行動は個人によって異なる。考えの浅い者や表面的な考えの生徒の言葉や行動によって、身勝手な行動や安易で楽な方向に流れ、学級集団としての足並みが乱れることもある。また級訓の『全緑』に向けて、個々が生き、生かされて、集団生活の向上に努めることがよりよい自己の実現につながるという本質的な理解がまだまだ乏しい。最近は、学級役員や行事の実行委員などを中心に、望ましい学級集団の在り方について、真剣に考える生徒が現れてきた。また、体育祭で競技の作戦について生徒同士で問題が起こったときに、生徒同士で解決した経験から、学級での話し合いが真剣に行える環境ができていく。

大きな行事を終えて、本授業を通じ、ひとつの出会いで集まった 35 名がいてこそその 3 年 C 組であるということ、好むと好まざるとにかかわらず、集団の中で与えられた役割を自覚し責任を果たすことの意義についてしっかりと考えさせ、集団としての向上があるということに気付く機会としたい。

(3) 資料について 読み物資料「監督がくれたメダル」

中学生の道徳3年 あかつき引用

本題材は、3 年生になっても野球部でレギュラーになれず、1・2 年生と一緒にノックや打撃投手などの裏方の仕事を命ぜられた少年の姿が描かれている。少年と監督の心の交流を通じ、集団の一員としての自己を見つめ、役割を自覚し、責任を果たすことで集団生活を向上させようとする態度を育成したい。集団に属する一人一人が役割を自覚し責任を果たすことが、集団を高めるだけでなく自己の向上に結びつくということを生徒の発表や発言を通じて、伝え合えるようにしていきたい。

3 キャリア教育としての視点

- a 他者に配慮しながら，自分の考えを正確に伝えることができるとともに，自分の役割を果たしつつ他者と協力する。【人間関係・社会形成能力】
- b 自分の役割やその進め方を理解し，主体的に行動すると同時に，今後の成長のために，自己のよりよい生き方を考え行動する。【自己理解・自己管理能力】

4 ねらい

行事や学級活動などの中で自分の個性を生かし，一員としての役割と責任を果たそうとする実践意欲を培う。

5 本時の学習

(1) 準備物・資料

- ・読み物資料「監督がくれたメダル」(副読本)・掲示用資料・掲示用発問
- ・予想される生徒の答え(掲示用)

(2) 展 開

時間	主な活動と発問	予想される生徒の活動	指導上の留意点及び評価 キャリア教育の視点
導入 5 分	1 普段の生活を振り返る ○ 自分がどんな役割を担っていたか考えてみよう。	・ 学級での係活動，各種実行委員 ・ 家でのお手伝い	・ やりたくない役割を仕方なくやっているという人もいることに気づかせる。
展開 33 分	資料を読む。 2 ○ 筆者が「もうノックをするのを止めたい」と思ったのはなぜだろう。 3 ○ 監督はYについて「何も言わないでもわかってもらえと思った」と言うが、何をわかってもらいたかったのだろう。 4 筆者が「外野ノックをする手が痛くなくなり、ていねいに打つようになった」のはなぜだろう。 ・ ワークシートの記入（5分）（理由を含める。） ・ 話し合い意見交換 （3分） ・ 自分の考えを深める（3分）	・ やっぱりやりたくない。 ・ もうメンバーになれないのに。 ・ 監督が憎い。 ・ 野球がしたい。 ・ 自分の気持ちを分かってくれる人はいない。 ・ メンバーを外れた理由。 ・ みんなのために一生懸命やること ・ チームに協力すること。 ・ 縁の下の力持ちが必要であること。 ・ それぞれの役割がある。 ・ 責任感が芽生えたから。 ・ チームのためにという思い。 ・ チームの一員という思い。 ・ 野球への強い思い。 ・ 監督の言葉に納得したから。 ・ Yも頑張っているから。 ・ 自分の役割の大切さがわかってきたから。	・ 自分の立場を受け入れられない筆者の思いに共感させる。 ・ 友人の価値観から学びやすいように発言内容を板書で整理する。 ・ 監督は、適材適所で人を選んでいる。集団における個人の役割について気づかせたい。 ・ チームにおける自分の役割を見だし、充実感を覚えている筆者をとらえる。 他者に配慮しながら，自分の考えを正確に伝えることができる。 【人間関係・社会形成能力】 ・ メダルが人生の礎となっている筆者の気持ちをおさえる。人間はさまざまな集団に属して生きており、そこで自己を生かすことが豊かな人生につながることを理解させたい。
終末 12 分	5 自分にとって，監督がくれたメダルにあたる経験や出来事はあるか考えてみよう。また，今日の授業の感想や意見をまとめよう。	・ 授業の感想や意見を記入する。	評 自己が属するさまざまな集団において役割と責任を自覚し，協力し合って集団生活の向上に努めることの大切さに

	6 教師の説話		気づくことができる。(発表・ワークシート) 自分の役割やその進め方を理解し、主体的に行動すると同時に、今後の成長のために、自己のよりよい生き方を考え行動する。 【自己理解・自己管理能力】 ・具体的な活動の場面において、集団を支え、貢献していこうとしている気持ちを書かせ、その努力を認め合う。
--	---------	--	---

(3) 事後の指導

- ・ 学級全体で進学や将来について考え、集団としての高まりを促せるような声かけを行っていく。
- ・ 学活や帰りの会など折に触れ、学校全体での3年生の役割と責任を自覚させる。

監督がくれたメダル	名前	組 番
-----------	----	-----

- 1
- ・ 筆者が「もうノックをするのを止めたい」と思ったのはなぜだろう。

- 2
- ・ 監督は Y について「何も言わないでもわかってもらえると思った」と言うが、何をわかってもらいたかったのだろう。

- 3
- ・ 筆者が「外野ノックをする手が痛くなくなり、ていねいに打つようになった」のはなぜだろう。

自分の考え	理由
-------	----

友人の考え

友人の考えを聞いて、もう一度考えたことを書こう。

- 4 ● 自分にとって、監督がくれたメダルにあたる経験や出来事はあるか考えてみよう。
また、今日の授業の感想や意見をまとめよう。